



美しい環境を明日へ

統一美化マーク

2019年4月25日

公益社団法人食品容器環境美化協会 (略称・食環協)





目次

○食品容器環境美化協会（食環協）の概要

○アダプト・プログラムの普及推進

1. アダプト・プログラムとは

2. 食環協の普及推進事業

①情報センターとしての機能

ー自治体アンケート調査結果に見る概況

②アダプト・プログラム助成制度

○次世代教育支援

環境美化教育優良校等の表彰

○食品容器環境美化協会（食環協）の概要



1. 食環協の沿革

1973年 空き缶の散乱問題に対処するため、飲料メーカーの団体により「食品容器環境美化協議会」設立

1981年 統一美化マークを採用



1981年

1982年 「社団法人食品容器環境美化協会」として農林水産大臣から設立認可
同年、「地方連絡会議」を設立し現在に至る(全国42地連)

1998年 アダプト・プログラム活動の普及推進開始

2000年 環境美化教育優良校等の表彰事業開始

2011年 内閣総理大臣からの公益社団法人への移行認定を受けて新しい法人として再発足

2018年 第6次三ヶ年計画がスタート



2. 食環協の構成

食環協

公益社団法人 食品容器環境美化協会	〒108-0023 東京都港区芝浦2-15-16 田町K・Sビル6F TEL.03-5439-5121 ホームページ: https://www.kankyobika.or.jp
----------------------	--

会員団体

一般社団法人 全国清涼飲料連合会	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-9-2 PMO神田岩本町2F TEL.03-6260-9260 ホームページ: http://www.j-sda.or.jp
一般社団法人 全国トマト工業会	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-18 ユニゾ小伝馬町ビル TEL.03-3639-9666 ホームページ: http://www.japan-tomato.or.jp
一般社団法人 日本果汁協会	〒105-0014 東京都港区芝3-3-14 ニットクビル6F TEL.03-6275-1761 ホームページ: http://www.kaju-kyo.ecnet.jp
日本コーヒー 飲料協会	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-9-2 PMO神田岩本町2F TEL.03-6260-9257 ホームページ: -
コカ・コーラ協会	〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31 六本木ヒルズノースタワー3F TEL.03-5410-4521 ホームページ: -
ビール酒造組合	〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-7 銀座大栄ビル10F TEL.03-3561-8386 ホームページ: http://www.brewers.or.jp

地方連絡会議

全国をカバーする食環協の拠点網
「地方連絡会議」が地域に密着して活動

■2018年現在、全国各地で42。

■基本的に県単位で(場合によっては複数県まとめて)、その地域に拠点(支社、支店、営業所、工場など)のある飲料メーカーで構成

■地方連絡会議は、学校表彰事業や地方における環境イベントなどにおいて、地方公共団体、市民団体、報道機関などへ連絡・調整を実施



<地方連絡会議の活動>



○愛知地連

「金山総合駅ごみ散乱防止キャンペーン」
参加

- 主催：愛知県、県内の市町村、自治会、NPO等関係団体
- 日時：2018年6月1日（金）
- 場所：金山総合駅



○兵庫地連

「須磨海岸クリーン作戦(ビーチクリーン)」
参加

- 主催：須磨海岸を美しくする運動推進協議会、神戸市須磨区
- 日時：2018年9月23日（日）
- 場所：須磨海岸 中央広場



3. 食環協の主な事業

(1) アダプト・プログラムの普及推進

- ① 情報センターとしての機能発揮(協会HP:事例紹介、Q&A等)
- ② 助成制度(2コース:助成金コース※、清掃グッズコース)
※清掃活動およびポイ捨て防止啓発活動に必要な諸経費として支援
- ③ 地域における普及活動(地方イベント等への支援・協賛・参画)

(2) 散乱防止の啓発

① 次世代教育支援

- ・環境美化教育優良校等の表彰(全国の小・中学校を対象)
- ・環境美化実践教育推進に向けた情報発信(表彰の広報活動等)
- ・教育資材の普及、活用(環境教育学習ガイド、HPまち美化キッズ)

② 散乱防止キャンペーンへの対応

③ 地域実態に応じた啓発活動

- ・環境イベント、美化キャンペーン等への参加・出展・協賛・協力

(3) 広報・調査の展開

アダプト・プログラム、次世代教育支援等を重点にHP, 広報誌等にて広報

○アダプト・プログラムの普及推進

1. アダプト・プログラムとは

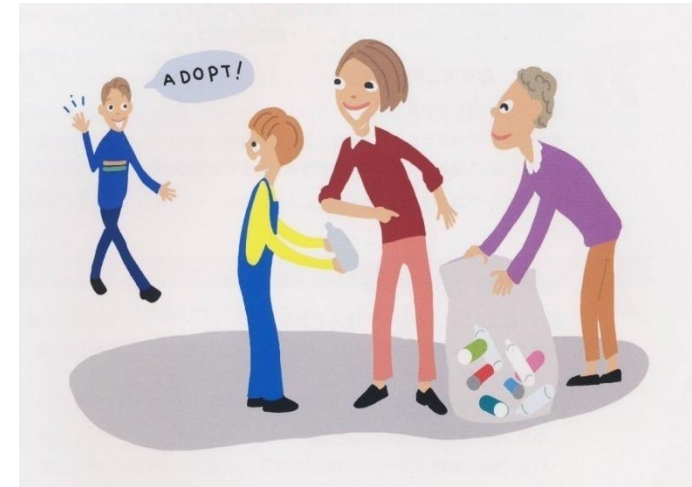
<意味・趣旨>

Adopt Program

意味=○○を養子に迎える

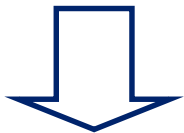
発音=アダプト

Adopt My Town Program



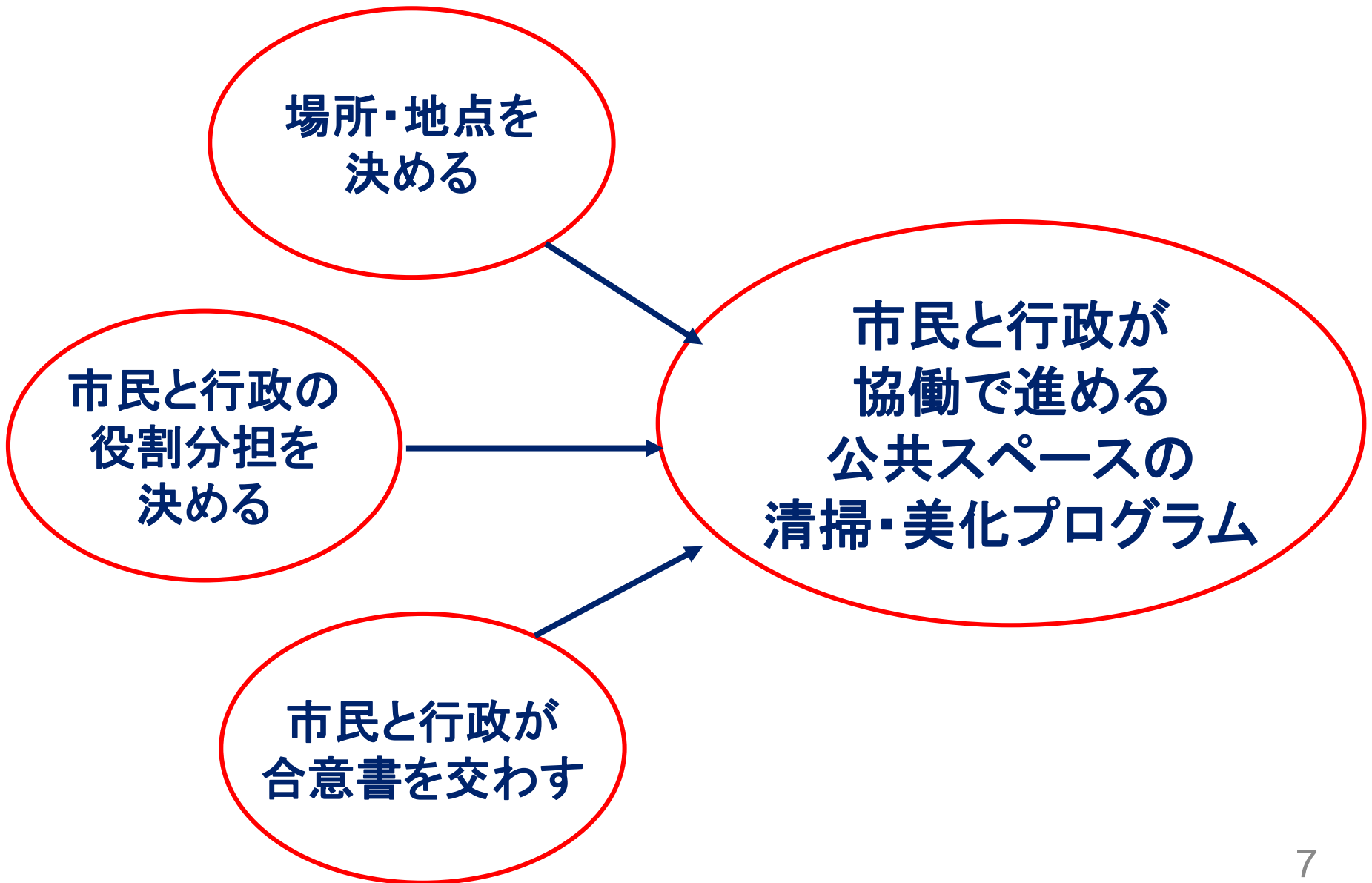
【起源】アダプト・ア・ハイウェイ(A-A-H)

プログラム1985年 アメリカ テキサス州



公共スペースをわが子にみたてて愛しむ=清掃美化

＜アダプト・プログラムの形式＞



＜アダプト・プログラムの具体的活動・行為＞



【市民の役割】
清掃・美化活動

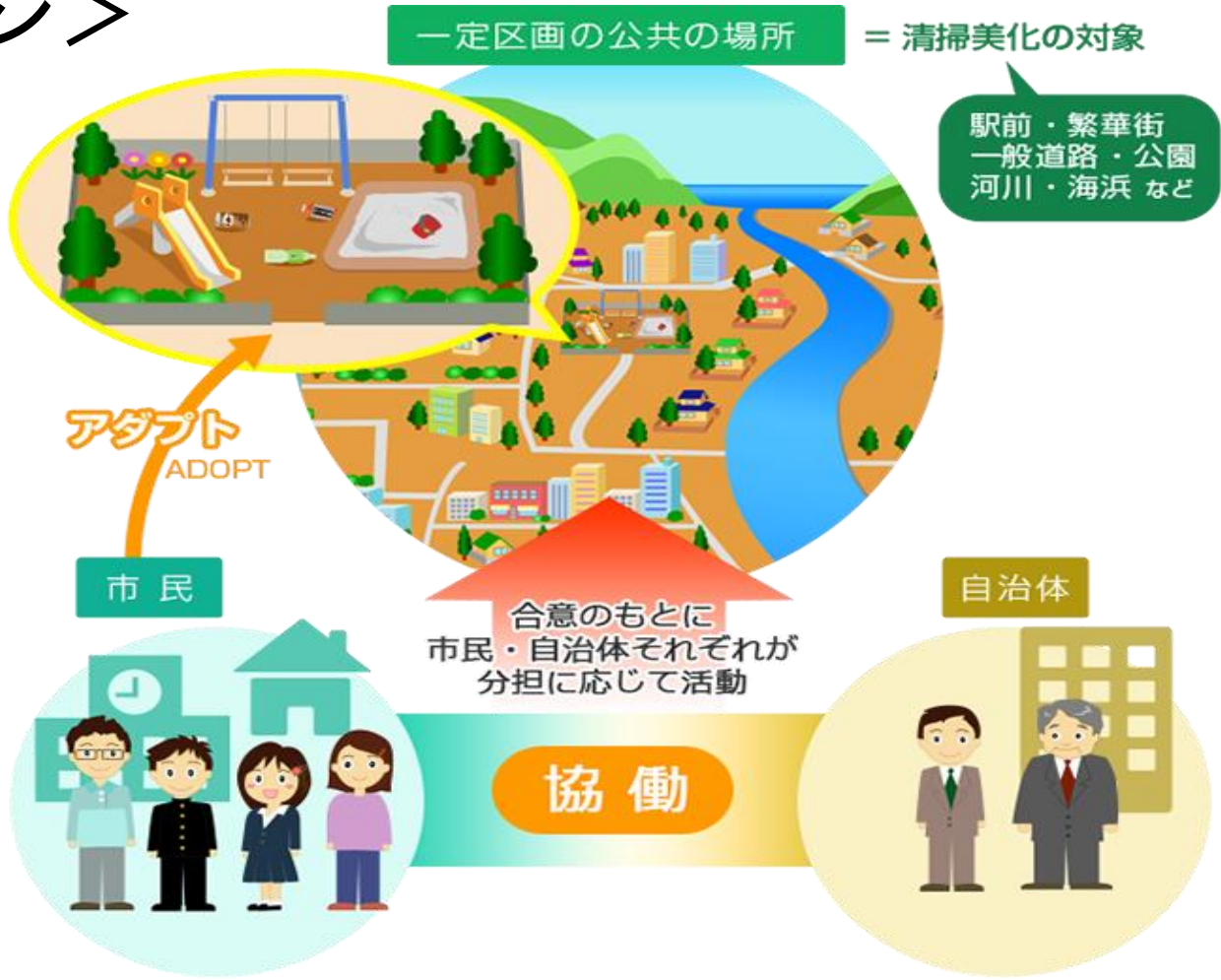
- ・継続的な清掃、美化活動
- ・活動報告、状況報告

市民と行政が
協働で進める
公共スペースの
清掃・美化プログラム

【行政の役割】
市民の支援

- ・ごみの収集
- ・用具の提供
- ・サインボード掲出
- ・活動促進
- ・ボランティア保険

<イメージ>



- 主な市民の役割（活動内容）**
- 清掃、ごみ拾い
 - ・ 除草
 - ・ 花壇の世話
 - ・ 砂まき（冬のみ）
- など

- 主な行政の役割**
- ・ ゴミの回収
 - ・ 清掃用具の提供、貸与
 - ・ ボランティア保険の加入
 - ・ サインボードの掲出
 - ・ 制度の広報、団体の紹介
- など

アダプト・プログラムの合意書(骨子例)



合 意 書

〇〇団体と△△市はアダプト制度実施要綱第〇条の規定に基づき、下記の事項について合意します。

記

1. 活動する区域

……(区画を示す別紙を添付することもある)

2. 市民の活動内容(里親の役割)

①活動区域内の散乱ごみの回収(花植え…など実施要領に沿って異なる)

②活動区域の散乱状況等の報告

③活動報告

3. △△市の役割

回収ごみの収集、清掃用具の提供、サインボードの掲出、ボランティア保険への加入など、実施要領に沿って記載。

〇〇年〇〇月〇〇日

団体: 記名捺印

市長: 記名捺印



日本のアダプト・プログラム サインボード事例



みやぎスマイルリバー・プログラム

この川はわたしたちがきれいにしています。
この間〇〇〇m

参加団体名

協力：〇〇〇市
河川愛護団体：〇〇愛護会
河川管理者：宮城県〇〇土木事務所

くわなあだぶも

この公園は、私たちがきれいにしています

美名市役所 環境安全課 Tel. 24-1183

ADOPT PROGRAM

この道は
私たちが
きれいに
しています。

長野道愛会

まち美化パートナー制度 磐田市役所 道路河川課 TEL (0538)37-4808

ぎふまち育て隊

adopt

岐阜市 アダプト・プログラム

きょうまちポイステZEROの会

この道路で私たちは、美化活動に取り組んでいます

亀山市 - 豊かな自然と緑の大地 光とあかりの国 -

KAMEYAMA GREEN SUPPORT PROGRAM

エコテックグリーンパートナーズ

私たちは、この緑地の里親として、美化活動を行っています。

亀山市公園等環境美化ボランティア推進実行委員会
亀山市産業建設部まちづくり推進室
TEL 0595-82-1111

まちの美化里親制度

美

この場所は、私たちが美化清掃しています。

清掃するところ

台東区

<アダプト・プログラムの特徴>

一口で言えば

- 活動内容は通常のボランティアと同じ
- ボランティア清掃活動の発展型の1つ
- 市民が公共スペースの“里親”になるというコンセプトの結果**



市民と行政が
協働で進める
公共スペースの
清掃・美化プログラム

行政から見た

- ・美化の実効があがる施策
- ・採用の可能な／容易な施策
- ・まちづくり、協働の流れ促進
- ・地域への愛着、連帯の向上



市民から見た

- ・行政の支援
- ・社会的認知⇒やりがい
- ・緩やかな自己責任の存在
- ・継続する、継続できる
- ・PR=仲間拡大

<日本のアダプトプログラム概要>

■ 日本では、1998 年に徳島県神山町
(かみやまちょう)で開始



■ 制度名は「アダプト」に限らない。全国の
都道府県、市町村で様々な名称で展開
「〇〇パートナー」、「〇〇サポーター」、「まち美化〇〇」など

○福岡県の事例

自治体名	部 署	アダプト・プログラム名称
福岡県	県土整備道路維持課管理係	さわやか道路美化促進事業
	県土整備部河川課管理係	企業協働河川愛護事業
	県土整備部河川課管理係	クリーンリバー推進対策事業
北九州市	道路計画課	北九州市道路サポーター制度
福岡市	道路下水道局 管理部 道路維持課	福岡市道路サポーター制度
大牟田市	都市整備部都市計画・公園課	まちの美緑花ボランティア制度
	都市計画・公園課	都市公園愛護会制度
久留米市	環境部環境政策課	くるめクリーンパートナー
筑後市	総務部地域支援課	筑後市環境パートナー事業
宗像市	農業振興課	さつき松原アダプトプログラム
古賀市	環境課	古賀市アダプトプログラム
福津市	地域振興部うみがめ課資源リサイクル係	公共エリア環境づくり事業
みやま市	環境経済部環境衛生課	みやま市環境美化ボランティア推進事業
那珂川市	建設課	那珂川市クリーンパートナー制度
苅田町	施設建設課	道路サポート
	都市計画課	公園サポート

■2019年2月現在

- ・実施自治体数： 423自治体
- ・アダプト・プログラム数： 約575プログラム
(*注)
- ・参加団体数： 45,000団体以上
- ・活動者数： 約250万人



(*注)プログラム数:各自治体におけるアダプト・プログラムの制度の数。1自治体で道路のプログラム、河川のプログラムなど、複数の制度・仕組みを有する例がある。

資料:アンケート調査、自治体ホームページ等をもとにした食環協調ベ

2. 食環協の普及推進活動

1998年からアダプト・プログラム活動の普及推進開始

(1) 情報センターとしての機能発揮

- ・アダプト・プログラム基本情報の収集・分析・提供、
制度・事例紹介
- ・自治体・活動団体等との情報交換の実施
(フェイスブックの活用、ワークショップ開催 など)

(2) アダプト・プログラム活動団体への助成

(3) 地域における普及活動の推進

- ・地連、地方自治体、活動団体等の要請に基づき
講師派遣、イベント等への協働出展等



(1) 情報センターとしての機能発揮

① アダプト・プログラム導入自治体アンケート調査 (定例年次調査)

食環協の把握しているアダプト・プログラム実施自治体
に対して、毎年、導入事例についてアンケート調査

【2018年】

- ・回収数＝346自治体
- ・アダプト担当部署（依頼＝539自治体 アダプト担当部署）

- ・調査・集計スケジュール
アンケート発送： 11月9日
アンケート締切： 1月10日
回答方式： WEB回答、郵送、メールにて返送

【2017年】

- ・回収数＝280自治体
- ・アダプト担当部署（依頼＝500自治体 アダプト担当部署）



<導入自治体調査から見るアダプト活動の概況>

○団体数、人数(2018)

<都道府県>

	団体数	団体構成員数	個人参加	合計人数
トータル	13,834	507,851	276	508,127
1プログラム当たり平均	231	9,582	28	9,610

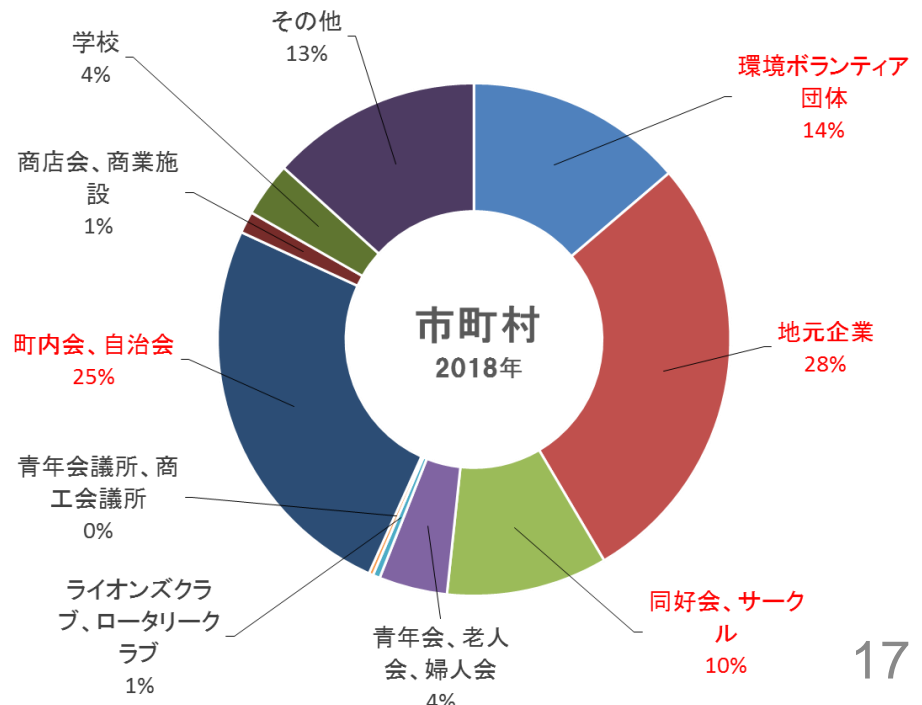
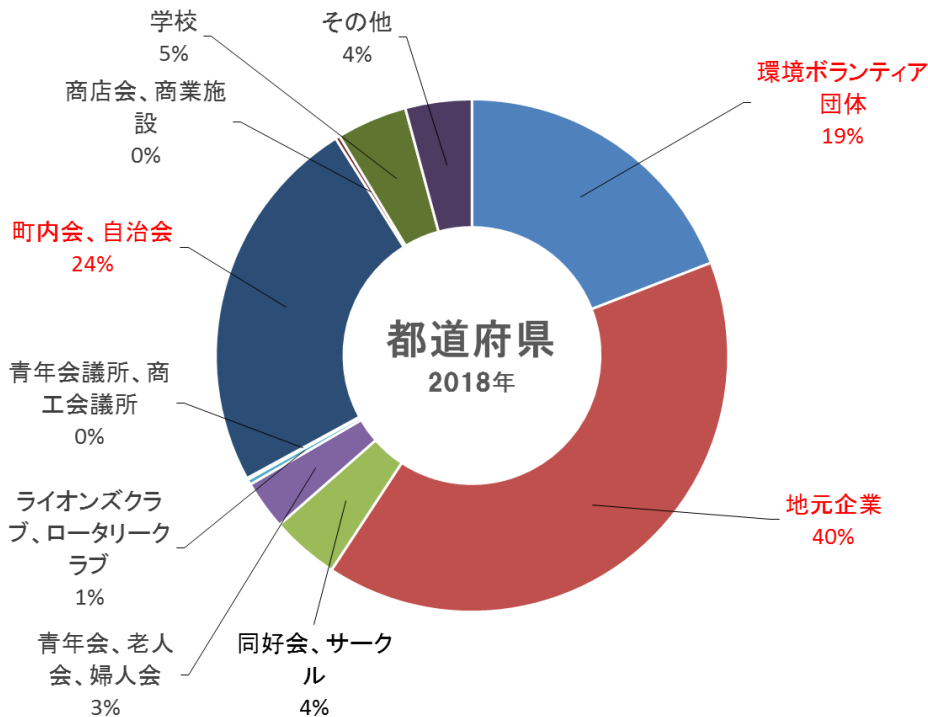
回答数 N=60 N=53 N=10

<市区町村>

	団体数	団体構成員数	個人参加	合計人数
トータル	13,438	420,968	1,686	422,654
1プログラム当たり平均	49	1,822	18	1,840

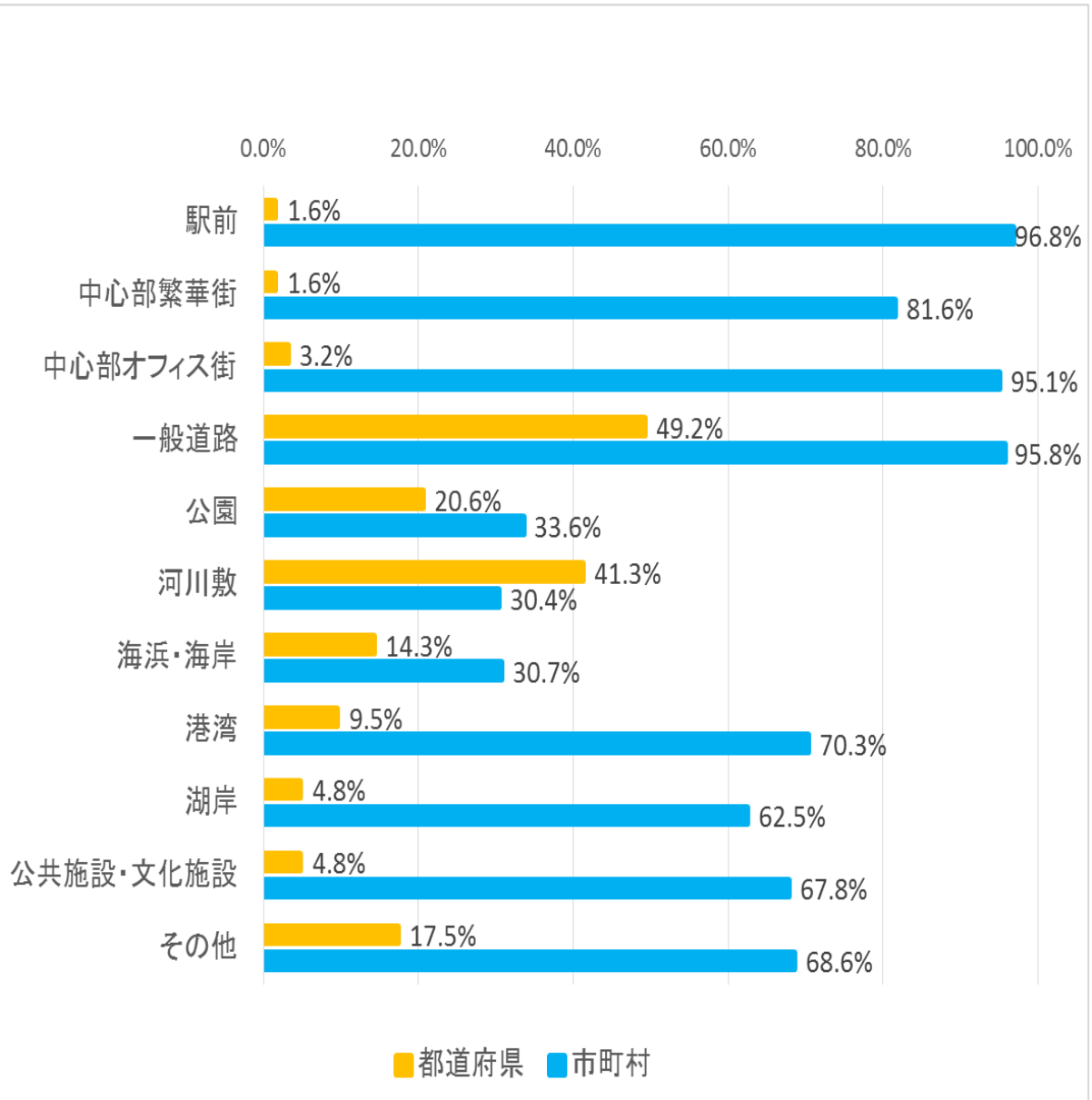
回答数 N=274 N=231 N=95

○団体の構成(2018)





○導入場所(2018)



○導入場所についての基本方針

	都道府県	市区町村	合計
a.全域導入	2	116	118
b.全域導入候補地指定	0	9	9
c.導入部署の管轄内	53	111	164
d.その他	3	19	22
合計	58	255	313

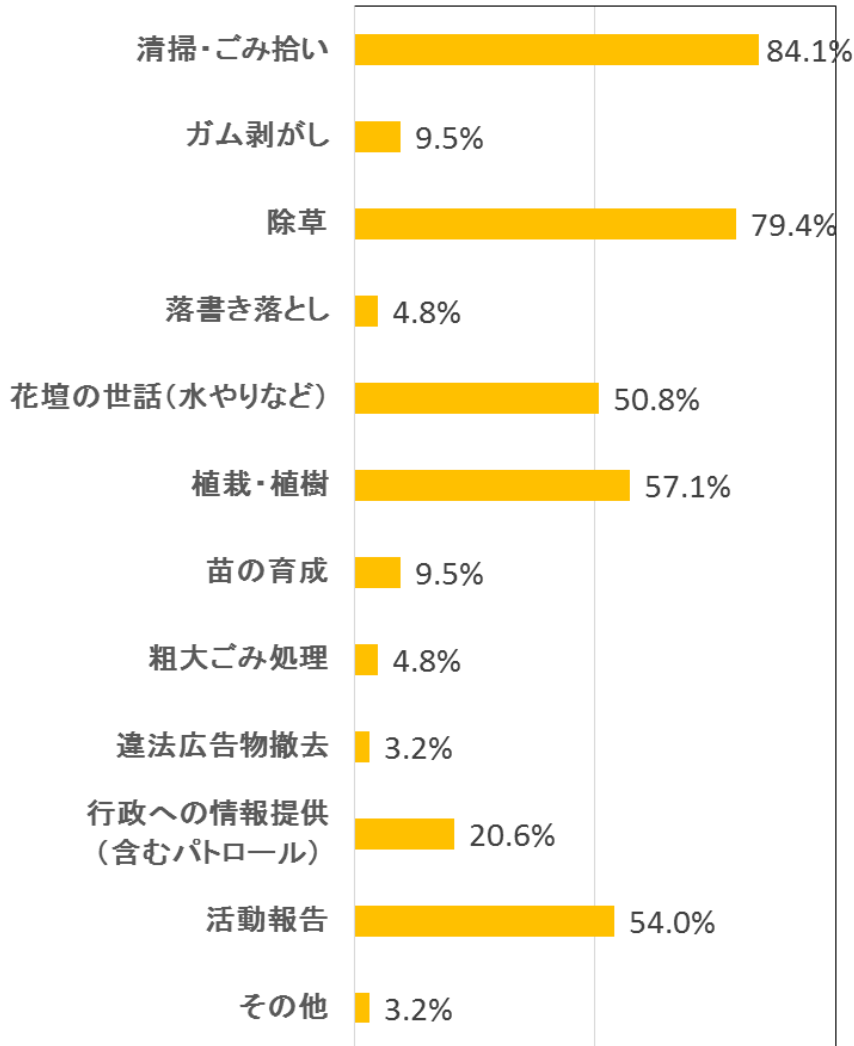
- (説明)
- a.場所の管理者区分に関係なく対象区域とし、参加団体の希望に沿って活動対象地点を設定している。
 - b.場所の管理者区分に関係なく対象区域としているが、その区域の中から対象となるゾーンを行政が特定し、そのゾーンの中で活動を希望する参加団体を募集している。
 - c.道路・公園など、場所の管理者が(管理者別に)導入し、管理している場所に限定して参加団体を募集している。
 - d.その他。(上記a～cのいずれでもない場合)



○市民の活動・役割(複数回答可)(2018)

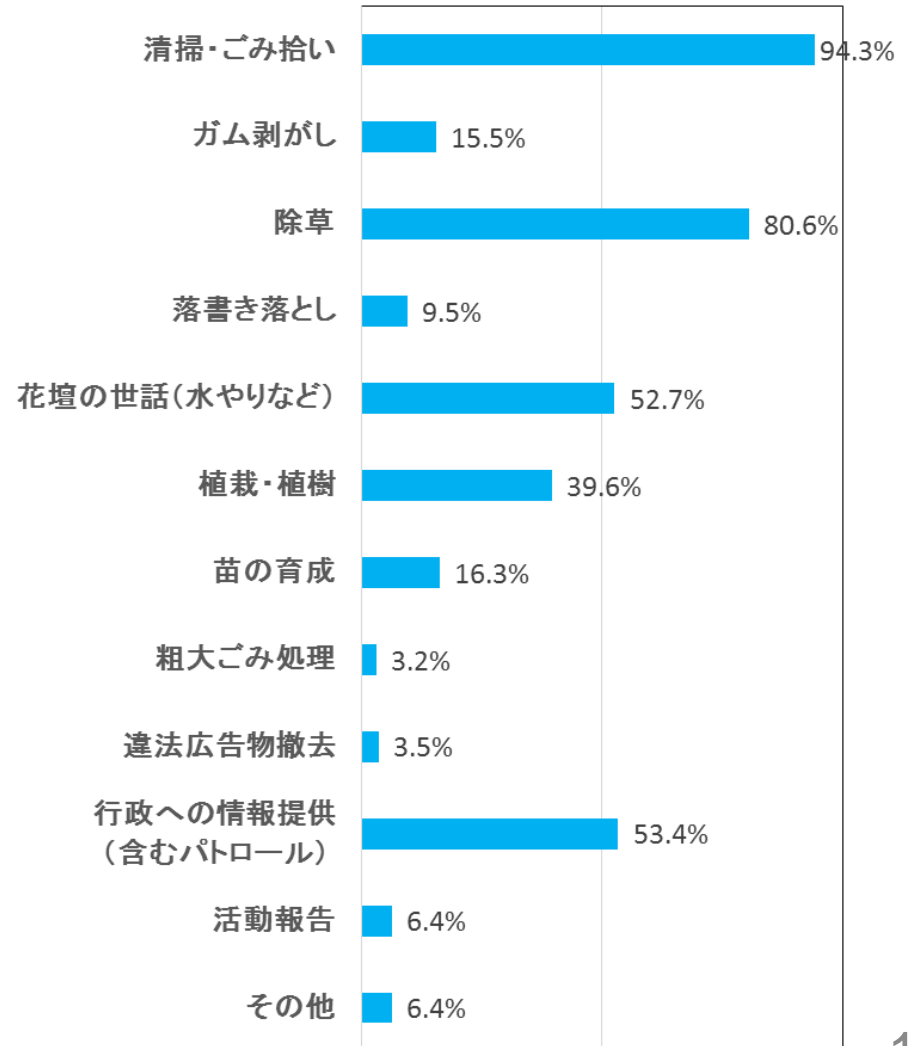
都道府県(N=63)

0.0% 50.0% 100.0%



市町村(N=283)

0.0% 50.0% 100.0%





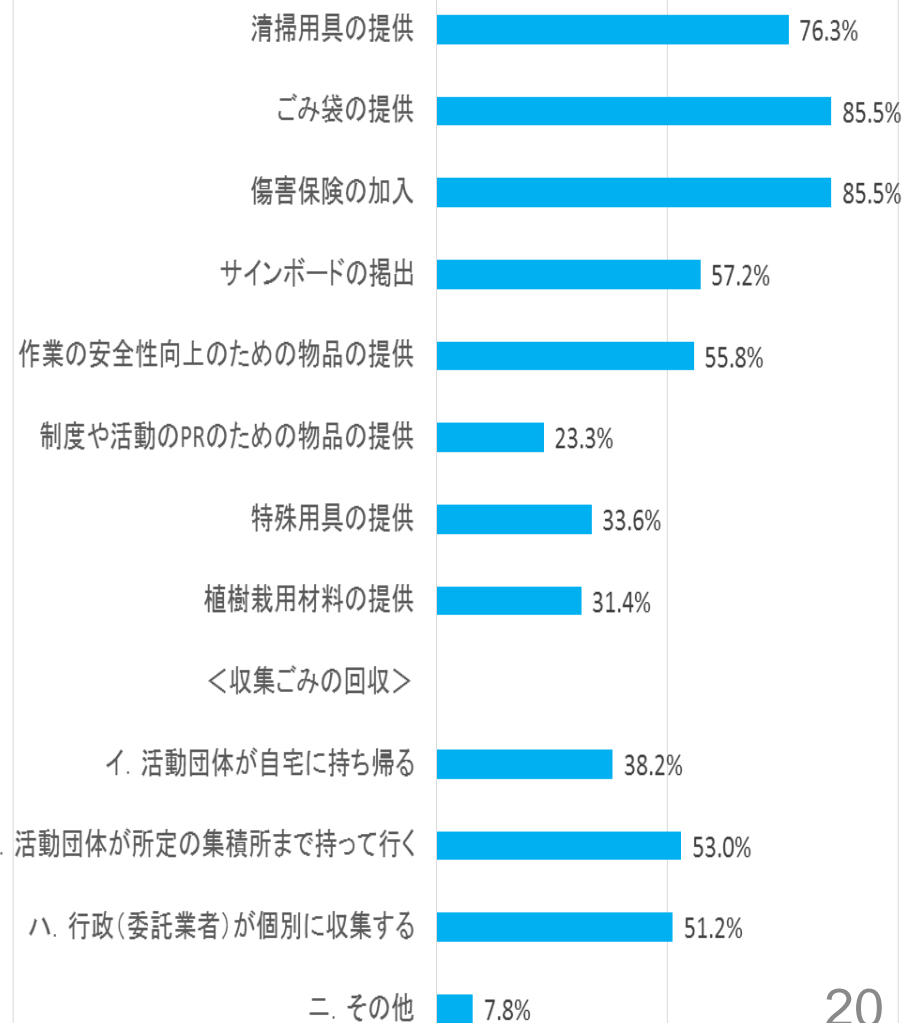
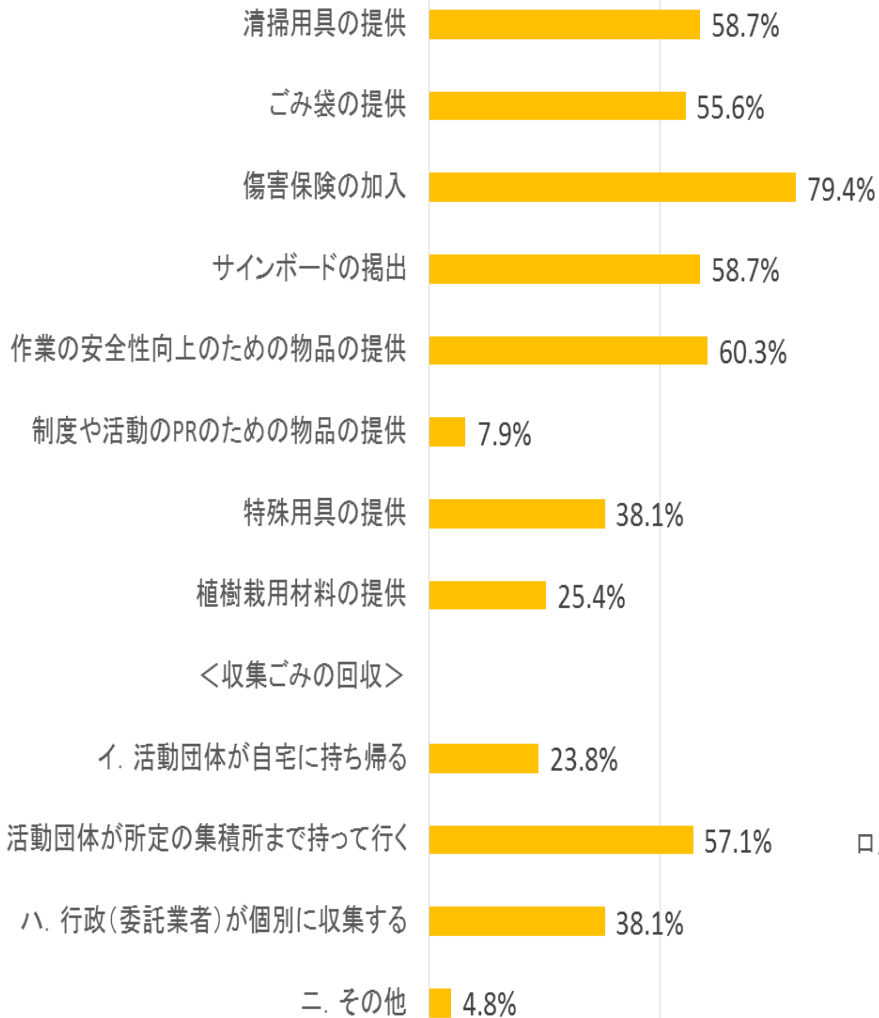
○行政の役割(複数回答可)(2018)

都道府県(N=63)

市町村(N=283)

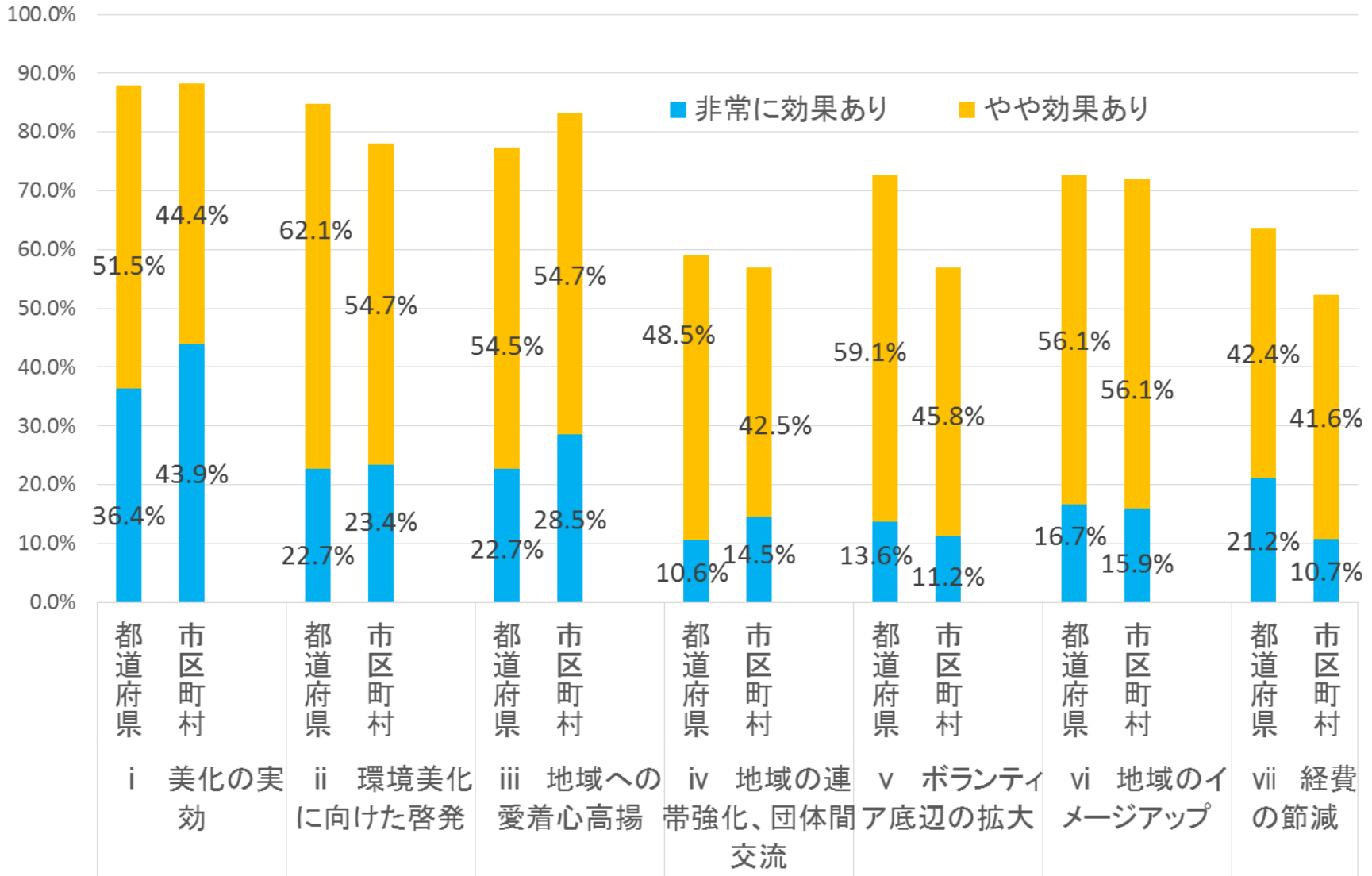
0.0% 50.0% 100.0%

0.0% 50.0% 100.0%





○アダプト・プログラムの成果(2017)



(補) 都道府県N=66、市区町村N=214

(2) アダプト・プログラム活動団体への助成

活動をさらに充実、拡大しようとする団体、あるいはアダプト・プログラムへの新規参加を予定する団体に対し、清掃活動等に必要な諸経費として助成。

2018年度からは清掃グッズを直接支援する方式も採用。

助成先団体から活動報告を受け、活動内容をホームページ、フェイスブック等で紹介。

○アダプト・プログラム助成制度(助成実績)

(金額の単位:千円)

	年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	合計
10万円コース	申請数	546	136	74	92	109	97	1,054
	助成団体数	35	17	19	27	29	31	158
	助成金額	3,145	1,679	1,892	2,677	2,836	2,959	15,189
5万円コース	申請数	—	254	154	139	144	136	827
	助成団体数	—	39	41	42	40	37	199
	助成金額	—	1,884	1,967	1,982	1,952	1,782	9,568
合計	申請数	546	390	228	231	253	233	1,881
	助成団体数	35	56	60	69	69	68	357
	合計金額	3,145	3,563	3,859	4,660	4,788	4,741	24,756

	年度	2018
助成金コース	申請数	155
	助成団体数	32
	助成金額	2,303
清掃グッズコース	申請数	80
	助成団体数	47
	助成セット数	194
合計	申請数	242
	助成団体数	79
	合計金額(相当)	4,243

(注) 合計の「申請数」には、申請コース不明7団体を含む。

【備考】

- ・2012年度は助成金コース(上限10万円)のみ。助成総額300万円を予定
- ・2013年度より10万円コース(上限10万円)、及び5万円コース(上限5万円)へ変更助成総額350万円を予定(50万円の増額)
- ・2015年度から助成総額450万円を予定(100万円の増額)
- ・2018年度から清掃グッズコースを新設
 ※清掃グッズは、ピブス5枚、トング5本で1セット(=諸経費込み1万円相当)
 ※助成金コースは、1団体上限10万円のみに変更



〔 2018年度から清掃グッズコース 〕

<助成先>



10万コース: 愛媛県立伊予農業高等学校
伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム(愛媛県)



10万コース: 木曾川水の始発駅(長野県)



5万円コース 磐田市一色会(静岡県)



グッズコース 富里市 あおぞらグループ
(千葉県)

○食環協による次世代教育の支援 環境美化教育優良校等の表彰



○2000年から、文部科学省、農林水産省、環境省の後援をいただき、優れた環境教育を
実践している全国の小中学校を表彰。

【審査の視点】

1. 公共空間の清掃美化や飲料空き容器類の散乱防止活動、リサイクル推進活動を実施し、地域の環境美化の啓発に貢献している。
2. 学校教育として取り入れており、**校内だけでなく地域との連携ができています。**

○ 最優秀校として、「文部科学大臣賞」、「農林水産大臣賞」、「環境大臣賞」、「食環協会会長賞」を授与。そのほか、優秀校、優良校を表彰。

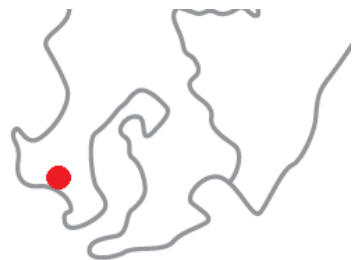
○ これまで 47都道府県 1,184校を表彰(2000～2018年度累計)

第19回 2018環境美化教育優良校等表彰<最優秀校>



【環境大臣賞】
鹿児島県・南九州市立松ヶ浦小学校

ウミガメ保護の活動とともに、海岸清掃活動に住民とともに取り組み



【文部科学大臣賞】
石川県・かほく市立七塚小学校

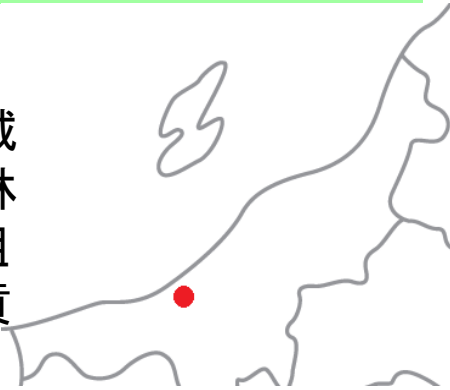
海浜の漂着ごみが深刻化していることに問題意識を持ち、「海浜クリーン作戦」を開始



【農林水産大臣賞】

新潟県・上越市立春日中学校

地域の名所「春日山城跡」周辺の山道や松林の清掃、植樹に取り組み、地域活性化にも貢献。



【食環協会長賞】

山口県・光市立浅江中学校

コミュニティ・スクールの機能を生かし、地域とともに、通学路などの清掃活動を実践。





ご清聴ありがとうございました。

2-15-16 Shibaura, Minato-ku, Tokyo 108-0023 Japan TEL 03-5439-5121 FAX 03-5476-2883